

項目	K-1 甲子園(高校生) K-1 カレッジ(大学生)			
	トーナメント		ワンマッチ	
階級	-55kg -60kg -65kg		・男子階級 -70kg/+70kg ・女子階級(甲子園のみ) -45kg/-50kg/-55kg	
試合時間	2分 ※決勝戦のみ3分		2分2ラウンド ※インターバル30秒	
延長戦	1分 ※決勝戦のみ1分30秒		-	
出場資格	高校生(15歳以上18歳以下) 大学生・専門学校生(プロ戦績10戦以内)			
参加費	15,000円(トランク付き) / 10,000円(トランクなし)			
防具	ヘッドギア	★各自用意 フェイスガード (ノーマル) (K-1ロゴ入り) ※決勝戦はなし	ヘッドギア	★各自用意 フェイスガード (ノーマル) (K-1ロゴ入り)
	スネパッド	★各自用意 (K-1ロゴ入り) ※準々決勝・準決勝・決勝はなし	スネパッド	★各自用意 (K-1ロゴ入り)
	ヒザパッド	★各自用意 (K-1ロゴ入り) ※準々決勝・準決勝・決勝はなし	ヒザパッド	★各自用意 (K-1ロゴ入り)
	胴当て	なし	胴当て	なし
	グローブ	★各自用意 12oz (K-1ロゴ入り)	グローブ	★各自用意 12oz (K-1ロゴ入り)
<p>(1)ヘッドギア(K-1ロゴ入り)、グローブ(K-1ロゴ入り)、スネパッド(K-1ロゴ入り)、ヒザパッド(K-1ロゴ入り)、コスチューム(K-1指定のもの)、バンテージ、マウスピース、ファールカップ(女子はアプスメントガード)は各自用意とする</p> <p>(2)ヘッドギア(K-1ロゴ入り)、グローブ(K-1ロゴ入り)、スネパッド(K-1ロゴ入り)、ヒザパッド(K-1ロゴ入り)は、K-1実行委員会指定(K-1ロゴ入り)の装着が義務となる</p> <p>(3)ファールカップは、紐タイプの金属製の装着が義務となる※プラスチック製やサポータータイプの使用は不可</p> <p>(4)K-1甲子園女子はアプスメントガードの装着が義務となる</p> <p>(5)コスチュームはK-1甲子園・K-1カレッジ指定のもの装着が義務となる</p> <p>(6)スパッツは、太腿を覆う以上の長さを使用不可</p> <p>(7)K-1甲子園の各予選大会は、決勝戦含む全試合、スネパッド(K-1ロゴ入り)、ヒザパッド(K-1ロゴ入り)の装着が義務となる</p> <p>(8)マニキュア、ジェルネイル等の施しは禁止となります</p> <p>(9)ゼッケンはトランクスの左後ろに貼り付けてください</p>				
■勝敗はKO勝ち、TKO勝ち、判定勝ち、引き分け、失格によって決定する				
勝敗	KO勝ち	(1)ダウンをして9カウント以内にファイティングポーズを取れなかった場合 (2)2回のダウンがあった場合※スタンディングダウンを含む (3)反則箇所を除く部分へ、パンチ・キックの有効技を瞬間的に決め、相手選手がダウンした場合、または、膝についてダメージがあるとみなした場合		
	TKO勝ち	(1)選手が一方向的に優勢の時、試合続行不可能とレフリーが判断した場合 (2)選手が負傷や出血し、試合続行不可能とレフリーまたは、リングドクターが判断した場合 (3)セコンドがタオルを投入した場合		
	判定勝ち	(1)KOやTKOで勝敗が決まらず、試合終了後にジャッジ3名の内2票以上を獲得した選手の勝ちとなる (2)延長戦は延長戦のみの試合内容でマスト判定(どちらかに優劣を付ける)とし、勝敗を決する		
	引き分け	(1)判定でもジャッジの2票以上の獲得がない場合 (2)両者が同時にダウンし、両者とも10秒以内に立ち上がらない場合		
	注意・警告・減点	(1)反則行為を行った時レフリーは、「注意」を与え、続いて「警告」、次に「減点1点」(イエローカード)とし、減点2点で「失格」(レッドカード)とする (2)悪質な反則行為を行った時、即、「減点1点」(イエローカード)や則「失格」(レッドカード)となる場合もある ※偶発的な金的攻撃であった場合でも、攻撃を受けた選手が試合続行不可能となった場合、攻撃を行った選手は反則負けとなる (3)呼び出しても試合場に現れない場合は「失格」(レッドカード)、遅れた場合は「減点1点」(イエローカード)からスタートになる場合がある (4)試合用コスチューム不備・防具不備があった場合、「減点1点」(イエローカード)からスタートになる場合がある		
有効技	パンチでの攻撃 ストレート、フック、アッパー、ボディブロー、バックブロー			
	キックでの攻撃 前蹴り、返し蹴り、横蹴り、内股への蹴り、飛び蹴り、かかと落とし、後ろ回り蹴り(バックスピンキック)、ヒザ蹴り、胴廻し回転蹴り等の回転技 ※顔面・頭部へのヒザ蹴りは有効			
反則技	(1)相手選手に抱きつく(クリンチ)、密着する行為 (2)相手選手の首に、両手および片手を引っ掛ける行為(首相撲を含む) (3)相手選手の手足を掴む行為 (4)肘打ち (5)頭突き(バッティング) (6)オープンブロー (7)故意による金的攻撃(ローブロー) (8)投げ技(タックルやサバ(折)りを含む) (9)関節技 (10)噛み付き、目潰し(サミング) (11)倒れた相手選手に対する攻撃、背後からの攻撃 (12)ローブを掴んでの攻撃 (13)「ブレイク」「ストップ」後、レフリーが試合続行を命じる前の攻撃 (14)セコンドのスポーツマンシップに反する、応援や相手選手に対する中傷や侮辱する言動			